

No. 1381, BASTOS, 84, OUTUBRO de 1973, O PROGRESSISTA, REG. Nº 2695 SAO PAULO, A. P.

バストス週報

第1381号
 昭和四十八年
 十月八日
 月曜日発行
 Director
 Koit Mori
 Redator
 Shion Oda
 Rua Pres.
 Vargas; 188
 C. Post. 112
 Fone 40
 BASTOS
 C. P.
 Annual
 Cr. #
 30.00
 Adiant.

水紋 41

死亡通知は自分で書く

ある有名な新聞をひろげて一番先きに死亡通知欄を見ることにして、書いてある「七十ぐらいで天寿を全ういたし、などと書いてあると、お気の毒に思うぞうである。六十や七十は真たれ小僧といいたい処であろう。

一体人間は何歳から老人で、何歳以上が高齢者かということが問題になつて、いるようだが、五十歳位でよぼよぼもあるし、八十歳でも矍鑠としてゐる人もあるの、一概に年齢を以てきめることは無理かも知れぬが、先ず無難な処では七十歳から老人で、八十歳から高齢と見るべきではなからうか。

コーカサツ地方では百歳以上の老人がザラで、百六十五歳というのが先日死んだと新聞に出ていた。そんなに長生をしても困るが、百歳迎くなつて、ピンピン達者でいられるものなら、仲間に入れても、うってわろくないと思つてゐる。私はいつても新聞をひろげると、小説を讀むようにしてゐる。恋愛小説が一番好きだ。怪奇もの、アクションものも嫌いではない。理窟っぽいものは苦手だ。

その次に政治欄に目を通し、ブラジル情勢、チリやマルゼンチンの問題など詳しく目を通す。中東やアラブのゴタゴタも好きだし、ベトナム、カンボヂヤなどもおこのみ焼きだが、近頃は少し鼻について来たようだ。新聞は隔々まで目を透し、広告までたんにねんに見、ついでに死亡広告を讀むようにしてゐる。近頃とくに感ずるのは、あまり気付かなかつたが死亡の原因に交通事故と名乗つてあるのがふえたことである。このころは毎日が頻繁にあるか判る。老人の場合でなくとも死亡年齢がたいに脚記されてゐるが、五〇、六〇ぐらいで死ぬ人は大体病氣療養中薬効がなく、であつて、お気の毒と思つたが、七十そこそこで亡くなる人を思つると、「しっかりせい」とつぶやくこみたりする。

それは反面自分を和ます、或はカづけろ意味で「しっかりせい」とカむのである。享年九十六才、などと出てゐると、「うん、よし」とほめることにして

毎度ありがとうございます

HOTEL PRIMAVERA

Rua Presidente Vargas 271 Fone 92

バルプリマヴェーラ

食堂 森川悠一

電話 九十二番



御宿泊と御食事に
 御宴会と御会食に
 御贈礼披露宴の御仕出しに
 バストス名物料理
 御家族つれの御食事に
 当店自慢の日伯料理

いろ、おそろくコロナア中さかしても百歳などという高齢者はあるまいか、そういう人の死亡通知を見たら「やっ、たノ」といって敬礼をすだらう。

老人福祉問題の権威者木村先生によると、誰も彼れも幸福な老人になれるわけがなく、五つの条件をもつていなくてはだめだということだ。第一が経済が安定の尊敬。第二が健康。第三が家庭及び地域からの尊敬。第四が役に立つ老人たること。第五が家族から愛されてゐること。だが、此の五条件の揃うといふのは誠にむずかしい限りである。金に不自由はせぬが、健康にすぐれぬとか、丈夫ではあるが、世間的になかなか役に立つ人といふのはあまりない。役に立つ程の人は、でしゃ張るからきらわれる。年寄りには、何となくじじむさく、家族中から尊敬されたり愛されたりするより、むしろきらわれる率が多い。

「おじいちゃん、きたないから、あつちへいけ」などと孫から嫌われた老人もバストスにいろぞうである。在伯の高齢者大体ことば(伯)が不自

SUPERAGI

最高の調味料



SUPERAGI
GLUTAMATO
MONOSSODICO 99%

遠藤貿易株式会社

協和醗酵工業株式会社

輸入元 聖市
製造元 東京

由なので、ここ育ちのボ語本領の孫とは身とふり返って見ると、すでにおやじのしつくりいかめ例が多い。六十代まで生きていた自分も、おやじの姿に倣然とするの役もつとまるし、人様から或る程度の尊敬も受け、自らもばしお役立っているという自負も持てるが、八十にも手が届くと、耳も遠くなる。トソと云って、もツとくる感覚が鈍り、起居動作も慢性的となり、とても世間の役に立つどころか、自分ひとりをもてあますのである。だから木村先生の五カ條は、当然のことながら揃っていない人が多いと見るべきであろう。家族から「あっちへ行ってくれ」と云われない道も、体裁よく敬遠されていくのが、実態ではなからうか。

私のおやじは二十数年前七十才で亡くなったが、健康だった。視力がうすくなつたが、エンジン・ダを持って低地まで二キロも下り、野菜作りで専念した。パーシ・ベビーノ・コーベマンティガ。ラバネッテ・ビメンタその他作りやすい野菜を丹念に作って台所へ運んだ。今のうちに老人問題の無かつた時代だから、爺父自身金はなくとも家族一緒の食事は足りた。町へ出る時の小遣いさへあれは事は足りた。親だから粗末にはしなかつたが、特に尊敬せねばならぬ程のおやじでもなかつた。そう思って現在の私生活に立ってはいないが、第一人様と抗争をせず、熱燗や中風も癒もたく愉し。糸音と云う具合に、酒も火酒のシエラデーラで冷した奴を毎晩コップ一ぱい引かけながら寝るから睡眠も充分である。世間の役に立ってはいないが、第一人様と抗争をせず、

貸しもしせず、借りもしせず、という平凡な人間だから、私は私なりに侍せぬことをしてと思つてゐる。これで金さえあれば、鬼に金棒だが、神様に伺つてみたら、そんなものに目をくれるな、との事だ。

数年前、貯金講という相互金融の小団体を作つたことがあり、その世話役に七老が當つた。吉浦、植原、吉田、松森、加藤、上西と私だった。その私を除いた六老は揃いも揃つた子福者、単なる子福者でなく、孝行息子ばかりである。その上豪農、豪商揃い、金は馬に喰わす程あり、何れも公益に尽した人たちで、冒頭に記述した木村先生の五ヶ條にびたりはまきて、釣りがくろ、資格のないのは残念ながら私一人である。

前記七老といつても御存知ない方もあろう。吉浦、植原、吉田三老は総合会館の募金に三年間を手弁当で奉仕したバストスの恩人、進んで多額の寄附もしてゐる孝行息子に恵まれ、吉浦老はパウルー西瓜と、トゲ無アバカシで農界に貢献してゐる。

植原、吉田両老とも大養鶏家、松森、上西の三老（但し上西氏は初老である）は貯金講の推進の功労者。松森老は、文協総務松森正さんの実父、三老何れも豪農、実業である。人様のことばかり存めず、自分のことばかりが、こればかりはどうにもならず、しいて存めれば、六老を上手に舞台に押し上げて芝居をしてもらったというところか。これこれ、失礼なこと云うなら、お前は奈落で舞台を廻しとったのだらう。ほんとは、その通り。こういう老人には老人福祉問題が不要である。経済も生活も大安泰、健康も目下良好、家庭でも爺ちゃん、爺ちゃん、と太切にされ、世間からは尊敬され、自分で社会のお役に立ってゐた、と自負できる人達ばかりである。上西初老などはバストス舞臺の大恩人であり、現役の世話人である。サンパウロは吹き溜りであるから、面々例みてくれる家族のない老人、孤老も多いので、老人問題も起るの当然だが、バストスでは、今の処老人問題は格別問題にされてゐないと思つてゐる。だが一応研究しておく必要がある。

以上、えうそうなことばかり言つたが、吾々も年一季と冥土へ、一里塚を歩きつつある。いつ何時あちらの方へよろこびで行かぬとも知れぬ。ただどういふ瀬戸際に往生さわのよかうんことをねがうのみだ。最後は、私自身のことを一言、「私の死亡通知は自分で書く」とは言

書くつもりである、ということ。自分自身に云つてきかせる助みの言もあつた。と云ふことである。

三重県熊野市、市長代理一行三名 バストス市役所式訪問

去る九月二十八日午後五時半頃、バスとスとは姉妹都市である三重県熊野市より市長代理として、坂内速夫氏、市役所副議長桑原宣夫氏並びに市役所職員、浜口卓史の三名が、昨年熊野市長信太茂氏が姉妹都市調印の為熊野市へ赴いた答礼としてバストスを訪問された。

同日夜会館に於いて歓迎会を催し、翌日より三重県人会副会長西徹氏、市長山中安彦氏宅、信太茂氏宅、石橋氏邸等の警応を受けて十月一日午前十一時ナンプウ口市へ退植された。尚西氏の案内で首都ブラジリア、リオ市などを視察されることである。

どういふ事情があつたか知らないが、バストスを孝けのお祭りであるべき苦の歓迎会に八十名ほどの出席者しかなかつたという。

私（宮武勝南）は二十九日の晩、信太茂氏から熊野市長代理一行を迎えて晚餐

法律案内

仕用人の
雇席契約を
確実にしておくこと
いざこざこざが起きないよ
うにするには
「契約書」が大切です

労働法民事・刑事法

会計事務一切

農家も帳簿を確実に！
一切は当事務所へ御相談
ください

プレジデントヴァルガス街一八九番

Dr. 石川雅宏
Dr. 小林平行

郵函 一〇三番
電話 一〇五番
一八〇番

ORGANIZAÇÃO RIO BRANCO S/C ADVOCAIA CONTABILIDADE E DESPACHOS

FABRICA de GRANITO

Av. Rio Branco % C. Post. 23: Fone 151
ADAMANTINA S.P.

大西石碑工場

大西文吉

電話 五一五番
郵函 二十三番

アダマンチーナ市リオブランコ大通り

墓 碑 記念 碑
胸 像 石 燈 籠
石 白 石 白
古い墓の修理もいたします
石材彫刻類の一切 製作

日本式及ブラジル式

豊島副市長が市長の代弁での挨拶として、皆さんが日本へお帰りになられたら、当ブラジルの良さを、つまり当国の人種偏見のないこと、土地が広大であること、無尽蔵の資源に恵まれていること、気候の良いことを日本の人に伝え、一人でも多く当国を視察に来られるように宣伝して戴きたい。そして必ずバスを訪問したい。当市役所では出来得限り御便宜を計るに各ではない旨の話をされた。

柔原宣夫氏は、これに答えて大体次のようなことを述べられた。

私は、当国へ来て当国の良さを深く認識いたしました。ことにバストスは日本語の通じること、日本食は何でも食べべうれ、日本から来て何不自由を感じないこと、想像以上であったこともさりながら、日系人の勤励さと熱意を以って当国のために貢献されておられるありさまを見て感激の外ありません。

どうかバストスの皆さん、熊野市とバストスを姉妹都市という名称のみに終わらせることなく、一層の緊密を計り、熊野市を通じて、日本のすぐれた点をバストス発展のために利用していただきたい。

例え、三重県にない農業技術、工業方面の技術などでも私共はバストスの為にその道の専門家をお世話致しませう。ところが、熊野市を御遠慮なく御利用下さるよう皆様へお伝え下さるよう願います。というようなお話があった。その後は唄などで賑わい、十時半頃散会した。

勝 甫

恍惚の人

24

茂造の便所があまり長かったので昭子は心配して訊いた。

「お爺ちゃん、いいウンチが出ましたか。幼児に訊くような質問が昭子の口から何気なく出た。すると茂造は振り返り、」

「なに、シヨンペンでしたよ」と答え、小用に、あんなに時間がかかったのか、外から察した様子では、どうも茂造は小部屋の中で坐り込んでいたように見える。あんなに寒いところだ、と思うと昭子は自分の腰が冷え込むような気がした。相手はもう子供供みたようになつてゐるのだ。速應せずには戸を開けてみればよかつたと思ふ。

「お爺ちゃん、今晩から私たちと一緒に寝ましようね。お仏壇もあちらに運びましたよ。お婆ちゃんが淋しがるといけませんからね。」

どの程度理解できるのか分らないまでも、昭子は茂造に説明してきかせないわけにいかない。茂造は黙って部屋の隅に膝まり、畳に尻をつけて、膝を抱いた形でじっとしている。昭子は離れの雨戸を開いて、戸障りをさちんとしてから茂造をうながすと、彼は素直に従つて来た。

Yamazaki & Assano Ltda

C. Postal 88 Fone 155 e 156 Rinopolis S.P.

山崎浅野商会の

自動選別洗卵機

完全なる

運転洗滌乾燥と選別

夫、丸山敦死後も引つづき
分洗卵機の取次を致して居
ります。

何卒御入用の節は左記へ御申
込み下さる様お願い致します

バストス市10デンプロ街三三一番地
代理人

丸山和子

電話 一六八番

就寢時間が来るまで、茂造は炬燵に入り信利と一緒にテレビの画面をじっと見ていたが、ドラマもニュースも一向に彼の感興を呼びまじました。様子はなかつた。ぼんやりしていることを、近頃流行の言葉では、ボケーンツとしていると言った。茂造の気持はまさしくそれであつた。思い切つて馬鹿気たドタバタ喜劇も、信利は故意にそれを父親に見せろつもりでいたらしいが、茂造はクスリとも笑わな

い。昭子は台所に立って、食事の後片付けや、明日から一週間の献立表の下拵えに忙しく、明日の茂造の弁当をつくるのと、一緒に自分の分も用意しようと思つて、信利は社員食堂で、故も高校の食堂で廉価な昼食をとるので、この家では昔の主婦の仕事の一つだった弁当作りの手間ははぶけていた。久しぶりのことだつたが、昭子は自分のも作るので面倒とも思わなかつた。

「おい昭子、親爺は眠っているぞ」信利が言ったので、昭子は炬燵の傍に布団を敷きのべ、ピータヤズボンと脱がせてネルの寝巻と着替えさせた。茂造は熟睡しているわけでもなかつたらしく、昭子のするがままに手足を聞いて、まるごと故が幼稚園へ通い始めた頃のようにだつた。

「寝かせ終つて、脱がせたものを片付けながら、昭子は信利に文句を言った。『あなたも少しは手伝わして下さいよ。』見ているばかりで、ひどいわ。』

「俺は、ただ驚いていゝんだよ。まるで胎抜けになつていゝやないか。俺もうっかり長生きすると、こういうことになつてしまふのかね。』

「我々が人生の延長線上ですか。』

「うん。』

その夜、この夫婦は久しぶりで肌を合わせた。昭子は夫の躰が離れると、もの哀れさを押さえきれなくなつて言った。『あなた、私は、敏が結婚して、もしあなたに死んだら自殺しようと思つた。』

「同じことを考えていたんだな。僕はこの間からずつと、そのことばかりだ。僕は一日でも早く君より先に死のうと思つてゐるんだ。女房に死なれた亭主は惨めだと言つたが、親爺はその極端な例だろう。もし君が死んだら、僕はすぐ後追心中をします。』

これに似たような会話を二十年も昔に夫婦で交し合つたことがあつたのを、昭子はぼんやり思い出した。そのときは二人とも若く、恋に燃えていて、会話はともすると現実から離れて、ロマンの香り高いものになつた。しかし、同じような会話を、あなたが死んだら私も死ぬわ

御 札

扱て、去る九月十五、十六日おぼん会、鶏供養法要、ぼん踊り等の催しの折りは多数御参詣下され、幾百の御献華、万灯会は例年以上の御進納がありました。厚く御礼申し上げます。細々紙上告示御礼申上げるべきと、相談の上、当院内に記録して、次の行事まで本堂に記載告示を致しました故、お含み下さい。

此の度びの先生方の御講話は、おぼん法要とはどんなことなのか。鶏善提供養法要の意義

等に付いて極く解りやすくお話があり、有難く聴聞できましたこと。また、ぼん踊りには、二晩とも、他に見ない盛況、意外の青年壮のお集りがありまして、一同ありがたく、茲に厚く深く紙上を以つて御礼申し上げます。敬 白

バストス南米本願寺世話方一同

皆 々 様

などということを、ロマンの香りのエ、
たく失せた状態で、深刻に溜息まじりに
交しあうことが将来にあらうとは、あの
頃想像もしていなかった。

忙しい一週間だったと思う。無我夢中
で過した。京子がいたことが、やはり昭
子には精神的な負担だった。小姑鬼千匹
というけれど、他人の性格に慣れるのに
は本当に時間がかかる。京子が帰って、
親子水入らずの元の生活がようやく戻っ
たという実感があつた。悪い人とは思わ
ないけれども、昭子は疲れてしまった。
久しぶりにぐっすり眠れる。夫の静かな
寝息を聞くと、昭子は安らぎを覚えて、
深い眠りの中に身が快く埋まっていくな
うだった。

真夜中に、獣の唸り声を聞いた気がし
て昭子は眼を覚ました。最初はまた自分
がまだ夢の中にいるのかと寝ぼけていた
が、声が階下で、茂造が悲鳴をあげ、戸
を叩いているのだと悟ると、反射的に飛
上り、階段を駆けおりに行った。
薄い明りをつけておいたので、茂造が
庭に面した硝子戸に蜘蛛のようにはりつ
いて震えているのが見えた。
「お爺ちゃん、どうしたんですか、お爺
ちゃん、しっかりして下さい」
背中にしがみつくようにして訊くと、
「ああ、昭子さん、小便です。シヨンベ
ンが出そうなんです」

「それなら、お便所はここですよ」
昭子は反対側にある便所の戸を開けて
電氣をつけると、茂造は前を広げながら
入ったが、また悲鳴をあげた。
「昭子さん、出ませんよ、ここでは小便
が出ないんです」

去年ようやくこの辺にも下水道が完備
したので、この夏思いきって水洗式洋式
の便所に変えた。そのとき誰れの方もつ
いでにやっけてしまおうかと思つたが、老
夫婦は昔なりの便所が性に合うという意
見だったので、そのままにしておいた。
水洗式に改造するのは思つたよりずっと
経費がかかつて、昭子は一つだけでも改
造できてよかつたと思つたものだった。
それが今では仇になつて、茂造は洋式で
は用が足せないと嘆いている。そういえ
ば、茂造が一々誰れの方へ出かけて排泄
していたのも思い出した。

昭はこれだけのことと、しかし一瞬に
思つて、硝子戸を開け、両戸を開け、す
ぐに茂造を離れにつれて行こうとした。
「昭子さん、苦しいですよ、漏れそうで
すよ。ああ、ああ、ああ」
「お爺ちゃん、庭でしてしまいなさい」
「ここで、ですか」
「ええ」

昭子が言いたのと、びしゃっとな音がし

ESCOLA DE DACTILOGRAFIA
DOM BOSCO
Rua Presidente Vargas, 117 Fone 25
タイプライター学校
マキナを全部新しく取りそろえましたから
みなさん勉強して下さい
石橋とち子

て、庭土の上に白煙が立つのが同時だつ
た。ふうふうしてしている茂造を、背後から
抱えるようにして支え、音をききながら
昭子は大変なことになつたと思つた。こ
れから毎晩こういうことが繰り返えされ
るのだろうか。寝巻一枚で飛び出したの
で、寒気がいきなり膝の芯にしみついて
くるようだった。
音が止つても茂造はそのままの姿勢で
いるので、
「お爺ちゃん」
声をかけると茂造は昭子の存在によ
やく気がついたらしく、
「ああ、昭子さん、月が綺麗ですよ」
と言つた。見上げると冬の夜空に皎々
と皓い月が輝いていた。冴えた月影はほ
とんど満月に近い。昭子は茫然として、
しばらく声もなく、男と共に庭に佇み、
月を見上げた。

八
近親を失つてから迎える正月は、服喪
して祝わず、年末年始の挨拶は欠礼する
という日本古来の習慣は、一つ葬式を出
した後の家族にとつては本当にありがた
いものであつた。眞に茂造のような老人
のいる家では、家族がじつと家にいると
いう状態は必要だつた。(次号へ)
著者 有吉佐和子

木村先生の紹介

小畑援護協事務局長

前白

九月下旬聖市で行なわれまして老人福祉週間に日本から老社福祉協会常務理事「老社の友」編集長、木村先生、を御招聘申し上げ、講演をしていただきました。が、前夜大雨が降ったのにも拘らず多数の方々が聴講下さいまして、非常に有意義な催しでありました。

昨年、森幹郎厚生省技官においで願って、老人福祉問題についてお話を願いました。先生のお話を大別しますと、老人問題を二つの面から御説明があったのであります。その一つは、年をとって、身寄りもなく金もないという、お気の毒な老人たちのこと。今一つは、生活の心配はないが、何もすることがない、生活に張り合もなく、希望もないと云った人達をいかに力づけるか、という点であつたかと思ひます。

生活の出来ない老人、これは救済会と援護協会に於て、厚生本部を通じて御世話をしておりますが、約二〇〇人の老人であります。まだ充分というわけには参りませんが、迫々と改善して参るつもりであります。

第二の生計には差支えないが、生き甲斐を失った老人もいかにして幸福を掴み取るようにしてあげられるか、という点を森先生に御相談いたしました。その御推選によつて、ここに参られました木村先生にお話を伺うことになつたわけでございます。

木村先生は、日本に於ける老人福祉問題の実際の指導に當つておられるその道の権威者であられますので、只今御紹介申あげらる次第です。

木村先生は十日程前聖市にお着きになり、聖市講演につづいてバウルを皮切りに去る土曜日（九月二十五日）から奥地巡回を始めまして、バストスが第四番目であります。バストスの老人たちは、孫と会話をするために、ブラジル語を覚えようと、老人学校で一生懸命ポ語を勉強して居られ、昨年は連邦政府の教育長官の御臨席を得て大いに面目を施したところが、新聞に載つていましたので、この席にもそういうお方も数人おられることと思ひますが、私、森先生にそのことを手紙でお知らせした処大変喜んで居られたのであります。

今回、木村先生は、私は、バストスという町があるそうだが、スケジュールに入つて居るかとおたずねがありました。

挨拶が長くなりましたが、最後に木村先生の略歴を申し上げます。先生は、明治四十四年青森県弘前で出生され、最初教育者として献身されました。のち東京に出て、戦前栄えていたキングという雑誌、若桜という雑誌などの編集長として、文筆事業に活躍なさいました。本年六十二歳という青年でございます。

戦後も評論家として、或は出版事業にたずさわつて居りましたが、今から十五年前老人福祉問題に関係し、多くの老人と共に歩いて参られ「老社の友」編集長として、老社福祉協会の常務理事として献身されて居ります。

先生はジマナリストであると同時に、現在老人問題の権威者として著名な方でもあります。聖市に於けるその各講演によつて多くの方が大きな感銘を受け、老人の生き甲斐について非常に希望を持たれたのであります。どうか、悠りお話をきかれ、また講演のあと、先生が御持参になつた老社福祉の映画をお目にかけます。非常に参考になるシネマで、大体一時間でありませうから、最後まで御観賞下さるよう、これを以つて開会のことばといたします。

老後の生き方について

只今御紹介にあずかりました木村でございます。バストスを巡回のスケジュールに組んでいただき、今夜バストスの皆様とお目にかかることが出来ましたことを大変嬉しく思つて居ります。

今夜は、年寄りには、如何に生きべきであるか、老後の幸福は、どのようなにして得たらよいかという問題について、私自身の考えましたことや、考えさせられる身などを御参考に供し、共に老人の福祉話などをお話したいと思ひます。

一体老後の幸福感というものは、人に於て色々と變つておるものであります。世間から見ても、本人は自分ほど悲壯なものはないと思つて居るかも知れず、又、あの人はお気の毒な人だと見られて居る本人が、自分では不幸ではないと思つて居る例もありまして、「幸福」というものの標準はきめられないものなのです。

老後の幸福とは、何であるかという問題で各国の老人福祉関係者が集つて、国際会議を開いたことがあります。

その会議は二日間に亘り討議研究されました結果、五つの条件が必要であると云ふことになりました。次にその五つの條

件の内容について話を進めて行きたいと思ひます。

第一、お金です。その暮しに困るような処には、幸福感はない。第二、健康なこと。第三、家族から慕われてゐること。第四、世間から尊敬。第五、家族の生活に役立つ人間と自負すること。

生活の問題

年寄りの生活費の方が若い者より六〇%よけにかかる。それは、食物の費用がよけいにかかるからだというしうべであつた。年寄りの方が食費の多くかかるのは、孫やその他の者が来て使うということか判つた。この家族の交流は年寄りにとつて心の安定感に強いものがあつた。けつこうなことであります。食へさせてやれるという感が大切だ。交際費も老人が断全多い。若い者の交際費というものは、お年寄りの交際範囲は世代が広く、遠くの親戚とのつき合ひ適も含むので、どうしてこの金額が嵩むのであります。

年間を通じて年寄りが金をつかうのは、三月と四月であることが判りました。三月四月は孫たちの入学祝に關係があつて、「お婆ちゃん、こんど僕、一年生に入学するんだ」といって来れば「ああ、それはよかつたわ」だけで孫はよろこばない。「じゃ、お祝いにランドセル買ってあげよう」となります。

ランドセルは今、東京で一万二千円もします。それだけお年寄りの懐中にひびいてくる。「ぼく、今度高校に入学するんだから」となると、お祝にももの凄くかかる。こういう風に、年寄りの負担は中々重いのでありませう。つまり、孫たちにプレゼントするときは、年寄りの生き甲斐であります。物を貰ふことよりも、与えることの喜びが大きいわけでありませう。これは年寄りにとつても、大きな生き甲斐であつて、この気持を満足させてやるためには、やはりお金がなくては駄目だということになります。

次に健康が大切です。健康で長生きをするには、人生最大無上の楽しみでありますから、いかにして健康を永続させるかについて考えてみましょう。身体に病氣のないことも大切ですが、それだけでなく、頭が果けないうつと孫と話をする為めに、年寄りもホルトゲースを勉強しようという、その気構えが大切なんです。

○ お金があつて、健康でさえあれば、老人として幸福がとうとうと、まだまだそれだけでは不十分です。あの年寄りは、大愛人のためにつくす人だ、立派な人だと附近からしたられる。うな徳をもつ事

御礼 広 告

柔道奨励大河内杯六種別(年令)大会汎パウリヲ女子選大会開催にあたりまして左記の方々の御寄附有難く御礼申し上げます。

- 金一千名ゼイロス也 バスト又市役所 様
 - 金五百名ゼイロス也 信太兄弟商會 様
 - 金五百名ゼイロス也 プラ製糸株式会社 様
 - 金五百名ゼイロス也 小澤養鶏場 様
 - 金五百名ゼイロス也 水本養鶏場 様
 - 金五百名ゼイロス也 南米銀行バスト支店 様
 - 金五百名ゼイロス也 山山養雄 様
 - 金五百名ゼイロス也 柘原 清 様
 - 金二百名ゼイロス也 バスト南伯農協組合 様
 - 金二百名ゼイロス也 CASA LACÃO LTDA 様
 - 金二百名ゼイロス也 NUTRI BASTOS LTDA 様
 - 金二百名ゼイロス也 PRES. AUES-RACAS 様
 - 金二百名ゼイロス也 豊島重幸 様
 - 金二百名ゼイロス也 上村大八 様
 - 金二百名ゼイロス也 有川 様
 - 金二百名ゼイロス也 東 輝 平 井 様
 - 金二百名ゼイロス也 柴田高美 様
 - 金二百名ゼイロス也 板垣寿勢雄 様
 - 金二百名ゼイロス也 小茂田光明 様
 - 金二百名ゼイロス也 柳浦龍太郎 様
 - 金二百名ゼイロス也 バスト又産業組合 様
 - 金二百名ゼイロス也 大野五郎 様
 - 金二百名ゼイロス也 木村武夫 様
 - 金二百名ゼイロス也 佐藤一男 様
 - 金二百名ゼイロス也 多シノ又之農産組合 様
 - 金二百名ゼイロス也 ポスト・シエール 様
 - 金二百名ゼイロス也 西見政行 様
 - 金二百名ゼイロス也 ランソ 様
 - 金二百名ゼイロス也 奥田耕 様
 - 金二百名ゼイロス也 長橋智 様
 - 金二百名ゼイロス也 永吉久男 様
 - 金二百名ゼイロス也 太郎田衛 様
 - 金二百名ゼイロス也 西ヶ迫信 様
 - 金二百名ゼイロス也 金川信 様
 - 金二百名ゼイロス也 大野秀雄 様
 - 金二百名ゼイロス也 藤原直輔 様
 - 金二百名ゼイロス也 守越外治 様
 - 金二百名ゼイロス也 森川ホテル 様
 - 金二百名ゼイロス也 梶田商店 様
 - 金二百名ゼイロス也 加藤兄弟商會 様
 - 金二百名ゼイロス也 石川武夫 様
 - 合計九千八百五十クルゼイロス也
 - 支出三千五百五十クルゼイロス也
- 内訳 総合優勝・団体優勝杯七個、メダリア1
2.3位各入百二十六個・接待費・遠征費、
残金六千七百クルゼイロス也は、柔道
部基金として預金しました
バスト又柔道部

が大切な事です。
 先進国スエーデン・オランダ・イギリスなどへ参りまして老人の家を訪問しました。多くの人が「あなた日本から来たそうだが、日本の老人は、家族と一緒に暮らしているそうではないか、これは羨ましい話だ」と申します。

それで日本の老人の80%は家族と同じに暮らしているという点では羨ましがられますが、それなら日本のお年寄りが全部幸福かといえます。なかなかなさうはいきません。家族との都合についても必ずしも丹精にいついていな人もあるわけですが、それはどういうところから来ているのでしょうか。

この家庭の不和の原因を調べてみると、やはり年寄りに経済力がないために、生活費の大部分を息子たちにかけているのが原因となつて、面白くない空気が生ずることも、摩擦が起ることも看過できません。もう一つは考え方、世の中が進んでくると、老人は相変らず一方的な観念の中にどじこもつて、どうしたなら家庭の通和を保てるかという点にふれようとはせず、自分の考えだけを押しつけることも一因となることもあるようです。

○近來家庭に於て摩擦に堪えかねて自殺する老人がふえて来て、一昨年あたりの調べでは一年に四千九百二十人もあったと、語呂合わせから、年寄りは「ヨクシニ」とよむ人もある位で、六十五才以上の年寄りに多い。

昨年東京都内に於て、老人に「あなたに家族と同居しているが、嫁に手数をかけていますか」という出題をしたら、「自分の身の廻りのことは自分で始末をして、自分の手数は自分で上げておろし、みな自分でやっています」と、殆ど全部の人がいっています。

ところが嫁さんには「あなたは、お宅の年寄りに手がかかりませんか」と尋ねますと、「いいえ、大変手がかかりません」とまるで反対の声があがり、九六%を占めました。この若い女性たちの考えは「身のまわり」ということが、年寄りと同居することによって生ずる色々な用事が全部身のまわりになるのです。お爺ちゃんへ電話の取り次ぎ、お婆ちゃんのお客さんへお茶の接待、一つ一つが身の廻りの用事となつてあらわれてくるわけです。年寄りが自分だけの考え固執して生きようと、若くは、やはり現代的感覚のないかと思われ、上つたエゴイズムではないかと思われ、のでありませぬ(以下略)

つくしはブラジルにもあるそうだが、見たわけではない。日本の国舎には小川の土手などに生えていたものだが、春の摘草に子供の手を貸せば、それたものである。土筆が兼題に出たので二つ三つ作って見たが、ご批評を願いたいと思う。

土筆狩る故郷愛親の便りあり
 パツリーの土筆は急なり土筆狩る
 土筆つむ岸にランベ釣る子たち
 三十センチは法螺でなかり土筆つむ

MACVETTI LTDA

AGENTE EXCLUSIVO OLIVETTI



MAQUINAS DE ESCREVER SOMAR E CALCULAR
 MANUAIS ELETRICAS E ELETRONICAS
 "OLIVETTI" ASSISTENCIA TECNICO ESPECIALIZADA
 PERMANENTE
 BASTOS - Rua 10 de Novembro 551, Fone 2526
 TUPA - Rua Caetes Nº 679 Fone 2524

計算機 電気計算機 タイプライタ フィッタ各種
 電気タイプライタ フォルミカ事務機 アルキーボ
 コフレ (金庫) 等々

ATENDE BASTO E REGIÃO 林 広 人

SUL AMÉRICA

CAPITALIZAÇÃO S.A.

Resultado do sorteio do mês de SETEMBRO de 1973
 YYL-EAA-OMT-GJZ-KAY-XPB
 Próximo sorteio di 31/10/73
 スルアメリカ カピタリザッソ

の九月分の抽籤組合せ文字は
 YYL-EAA-OMT-GJZ-KAY-XPB
 でありました。
 十月分の抽籤日は十月三十一日です。

アルゲルド バスカクリス

SUPER GAS LOJA PELUCY

開店御知らせ

このたびビケのペトドロが左記の場所

○ロドリリアの上で開店いたしました

スペルガス販売(毎週配給)

○フォゴンのランペオンガス

○中古フォゴンを新品と交換

○フォゴンの修理その他

○格安に御用命にたじ御便宜に取り計らいます故、何卒

御引立を願ひ申上けます。

ウサミ食堂の 向い側 プヴァルガス街 三九六番

梶 田 誠

電話 四五八番

Aviso de Cine Pastos

十月七日(日)九時半 八日(月)八時
東宝 日本誕生 三船敏郎 司葉子 田中絹代 乙羽信子
天竺色 鶴田浩二 志村喬 香川京子 東野英治郎
十月九日(火) 十日(水) 両夜とも八時
東映 裏切りの暗黒街 鶴田浩二 山本麟一
松天 香山美子 天津敏
然色 街田東介 柳永二郎

裏切りの暗黒街

悪事の最後を飾るギャンブル四人組の大仕事。心臓に突き刺さるような場面をあげられても、それでも欲しい現金五億、

十月十二日(金)八時 十三日(土)九時半
松竹 松竹 加藤大介 尾崎奈々 並川憲一
然色 松竹 あまから物語 フランキー堺 森次浩司
松天(女の朝) 三木のり平 京塚昌子 水前寺清子
然色 松竹 あまから物語 三木のり平 京塚昌子 水前寺清子
がんこお親父に家族の追及、豪華な顔合せで描く格闘の大型喜劇、

内海の輪

十月十四日(日)九時半 十五日(月)八時
松竹 松竹 岩下志麻 入川保則
然色 松竹 中尾 彬 瀧沢修
あつたを殺そうとする男を愛せるか、気品と淫蕩が息づく岩下志麻、女盗りの端密な演技、

港町ブルース

十月十六日(火) 十七日(水) 両夜とも八時
東映 東映 野川由美子 山口美奈子
然色 東映 森進一 小林千枝
瞳をつくる梅宮辰夫、恋に溺れる野川由美子、ふせび泣き唄う森進一、

初めその愛

十月十九日(金)八時 二十日(土)九時半
松竹 松竹 加藤大介 加藤治子 島田陽子
天竺色 松竹 加賀まり子 服部妙子
愛はやさしいはずなのに、愛はつめたくながう、私の心を通り過ぎる、少しは私に愛を下さい